

井の頭恩賜公園花便り



ネコハギ



コムラサキ

マメ科の多年草で、本州から九州の日当たりのよい乾燥した草地などに生え、茎は基部近くで枝分かれし地面を這うように伸びます。葉や茎の表面に毛が多いのが特徴で、これがネコハギの由来と言われています。葉は3小葉からなり白に紅紫色の斑点がある8mm程の小さな花を咲かせます。

クマツヅラ科の落葉低木です。株立ちに成長し、細い枝が弓状に垂れ、6月～8月に根元側から先端に向かい、淡紫色の花が順次開花していきます。葉は対生で葉の先半分の縁にだけ鋸歯があります。9月～10月に美しい紫色の小さな実を多数つけます。



ネコハギ



コムラサキ



花便りに関するご質問は、井の頭恩賜公園案内所0422-47-6900までご連絡ください。